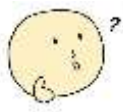


1-4 トレッドミル運動負荷試験



トレッドミル運動負荷試験とは？

ベルトコンベアーのような動くベルトの上で歩いたり走ったりしながら、心電図を記録します。マスター負荷心電図と違い、運動中の心電図変化が記録できるという利点があります。

検査の受け方

胸部に10個の電極をつけ、血圧を測りながら検査をします。

始めに安静時の心電図を記録し、その後ベルトの上を歩いてもらいます。

ベルトは段階的に速くなり、台に傾斜がついてきますので坂道を走るような感じになります。目標の心拍数に達したら運動は終わりです。(途中、自覚症状がでたり心電図変化が見られた場合には、中断します。)

そのまま、運動後の変化を見るため、5分前後、心電図の記録を続けます。具合が悪くなるなど状態に変化がなければ、電極をはずして終了です。

検査時間は30～60分です。

この検査は、医師立会いのもと行われます。

気をつけること

- ・ 運動しやすい服装でおいで下さい。厚着している場合は、服を脱いでもらうこともあります。
- ・ 汗をかきますのでタオルをご持参下さい。また、よく汗をかく方は着替えも準備してください。
- ・ 検査前は、飲食・喫煙はしないで下さい。
- ・ 具合や調子の悪い方は前もってお知らせ下さい。

